


富山イノベーション／スタートアップ・エコシステム の在り方に関する調査（中間報告）

2021年3月29日

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行
富山事務所長 吉田守一

目次

1. 今回の調査対象先及び調査方法について	P.2
2. 富山県・浜松市・広島県の比較	P.4
3. ヒアリング結果（中間報告）と考察	P.8
付表 浜松市・広島県の特徴的な施策	P.15

※現段階の中間報告であり、今後レポートとしてとりまとめる予定

著作権 (C) Development Bank of Japan Inc. 2021

当資料は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）により作成されたものです。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当行の承諾なしに、本資料（添付資料を含む）の全部または一部を引用または複製することを禁じます。

Section1

今回の調査対象先及び調査方法について

今回の調査対象先及び調査方法について

- 今回の調査先は、内閣府の「世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市」に採択されているグローバル拠点都市および推進拠点の中から、富山県と近い性質を持つ地域（特に第二次産業割合が30%台と高い地域）として、それぞれから浜松市と広島県を選定した（どちらも行政のリーダーが熱意を持ってエコシステム形成にコミットしている）。
- 上記2都市につき、現地視察を含むヒアリングを実施（実施期間：2021年3月8日～3月16日）。

世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市に採択された都市と富山県の比較

■ : 富山県と近い規模

地域・エコシステム拠点都市	人口（人） (都道府県:2019年、市区町 村:2015年)	面積（km ² ） (都道府県:2019年、市区町 村:2018年)	名目総生産（百万円） (2017年度)	うち第二次産業割合 (%) (2017年度)	
富山県	1,044,000	4,248	4,584,089	37.8%	
グローバル拠点都市					
スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム	東京都	13,921,000	2,194	106,238,222	14.7%
Central Japan Startup Ecosystem Consortium	浜松市	797,980	1,558	3,176,642	32.3%
	愛知県	7,552,000	5,173	40,299,791	42.0%
	名古屋市	2,295,638	327	13,439,360	13.8%
大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム	京都府	2,583,000	4,612	10,799,617	30.8%
	大阪府	8,809,000	1,905	40,069,967	21.5%
	兵庫県	5,466,000	8,401	21,328,823	27.3%
	神戸市	1,537,272	557	6,547,035	26.0%
福岡スタートアップ・コンソーシアム	福岡市	1,538,681	343	7,804,309	7.9%
推進拠点都市					
札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会	北海道	5,250,000	78,421	19,430,141	17.6%
	札幌市	1,952,356	1,121	6,915,662	10.7%
仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会	仙台市	1,082,159	786	5,387,952	15.7%
広島地域イノベーション戦略推進会議	広島県	2,804,000	8,480	11,790,821	33.7%
北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム	北九州市	961,286	492	3,718,824	27.8%

(出所)

- ・人口：総務省「統計からみる市区町村の姿（2020年）、統計からみる都道府県の姿（2021年）」
- ・面積：総務省「統計からみる市区町村の姿（2020年）、統計からみる都道府県の姿（2021年）」
- ・名目総生産：内閣府「県民経済計算（2017年度）」、浜松市・名古屋市・神戸市・福岡市・札幌市・仙台市・北九州市「市民経済計算（2017年度）」

Section2

富山県・浜松市・広島県の比較

ヒアリング地域及び全国との比較① ※浜松市のデータもとれる指標

- 富山県は総生産に占める第二次産業の割合や製造業が占める事業所数の割合も全国よりも大きいことに加え、4人に1人が製造業に従事しているなど、ものづくり地域としての強みを持っている。
- 一方で起業に関係する指標である開業率や廃業率をみると、浜松市、広島県はどちらも全国平均並みであるが、富山県はどちらも全国平均を下回っている。

○ : 注目した指標

項目	時期	単位	富山県	静岡県		広島県	全国
					浜松市		
名目総生産	2017年度	百万円	4,584,089	17,277,470	3,176,642	11,790,821	561,523,371
うち全国に占める割合		%	0.8%	3.1%	0.6%	2.1%	100.0%
うち第一次産業割合		%	1.1%	0.9%	1.2%	0.7%	1.1%
うち第二次産業割合		%	37.8%	43.9%	32.3%	33.7%	27.6%
うち第三次産業割合		%	60.8%	54.7%	66.4%	65.2%	70.8%
産業別出荷額ランキング (業連関表の影響係数)	2018年	1位	化学工業 (0.97)	輸送用機械器具製造業 (1.04)	輸送用機械器具	輸送用機械器具製造業 (1.04)	輸送用機械器具製造業 (1.40)
		2位	生産用機械器具製造業 (0.96)	電気機械器具製造業 (1.00)	生産用機械器具	鉄鋼業 (1.40)	化学工業 (1.09)
		3位	金属製品製造業 (0.98)	化学工業 (1.00)	電子部品・デバイス・電子回路	生産用機械器具製造業 (1.01)	食料品製造業 (1.11)
		4位	非鉄金属製造業 (1.07)	食料品製造業 (0.99)	プラスチック製品	食料品製造業 (0.99)	生産用機械器具製造業 (1.07)
		5位	電子部品・デバイス・電子回路 (1.00)	生産用機械器具製造業 (0.99)	電気機械器具	プラスチック製品製造業 (1.01)	電気機械器具製造業 (1.07)
事業所数	2016年	所数	51,785	172,031	35,552	127,057	5,340,783
うち製造業	%	%	10.1%	11.4%	12.2%	8.1%	8.5%
従業者数	2016年	人	504,554	1,712,983	367,526	1,302,074	56,872,826
うち製造業	%	%	25.4%	25.4%	22.5%	18.1%	15.6%
開業率	2009～2016年	%	3.6%	4.1%	4.5%	4.4%	4.3%
廃業率			5.8%	6.4%	6.7%	6.5%	6.8%

ヒアリング地域及び全国との比較② ※主に県単位でしかとれない指標

- 富山県は総面積に占める自然公園の割合が30%程度と浜松市を含む静岡県や広島県よりも大幅に高く、自然環境に恵まれた地域である。
- 一方で、産学連携件数や大学発ベンチャー数、ベンチャー企業数といったエコシステムに関する指標は他地域よりも少ない。

○ : 注目した指標

項目	時期	単位	富山県	静岡県		広島県	全国
					浜松市		
総人口	2015年	人	1,066,328	3,700,305	797,980	2,843,990	127,094,745
総面積	2018年	km ²	4,248	7,777	1,558	8,480	372,971
うち森林面積	2014年	%	56.6%	63.1%	-	71.8%	65.5%
うち自然公園面積	／2019	%	29.6%	10.8%	-	4.5%	15.0%
延べ宿泊者数			3,807,890	23,429,440	-	11,630,710	595,921,480
うち延べ外国人宿泊者数 (割合)	2019年	人	357,830 (9.4%)	2,493,790 (10.5%)	-	1,322,280 (11.4%)	11,5656,350 (19.4%)
産学連携件数 (対象の大学名) ※共同研究件数	2019年度	件	162 (富山大学)	327 (静岡大学 +浜松医科大学)	74 (浜松医科大学)	424 (広島大学)	29,256
スタートアップの資金調達額	2020年 (2019年)	億円	-	23 (13)	-	17 (21)	4,610 (5,256)
大学発ベンチャー企業数 (大学数に占めるベンチャー企業数の割合)	2020年	企業数	3 (60.0%)	61 (508.3%)	-	46 (230.0%)	2549 (324.3%)
大学数	2019年	大学数	5	12	-	20	786
ベンチャー企業数 (事業所数に占めるベンチャー企業数の割合)	2020年	企業数	15 (0.029%)	74 (0.043%)	-	42 (0.033%)	111,89 (0.210%)

<参考> ヒアリング地域及び全国との比較に用いた各指標の出所等一覧

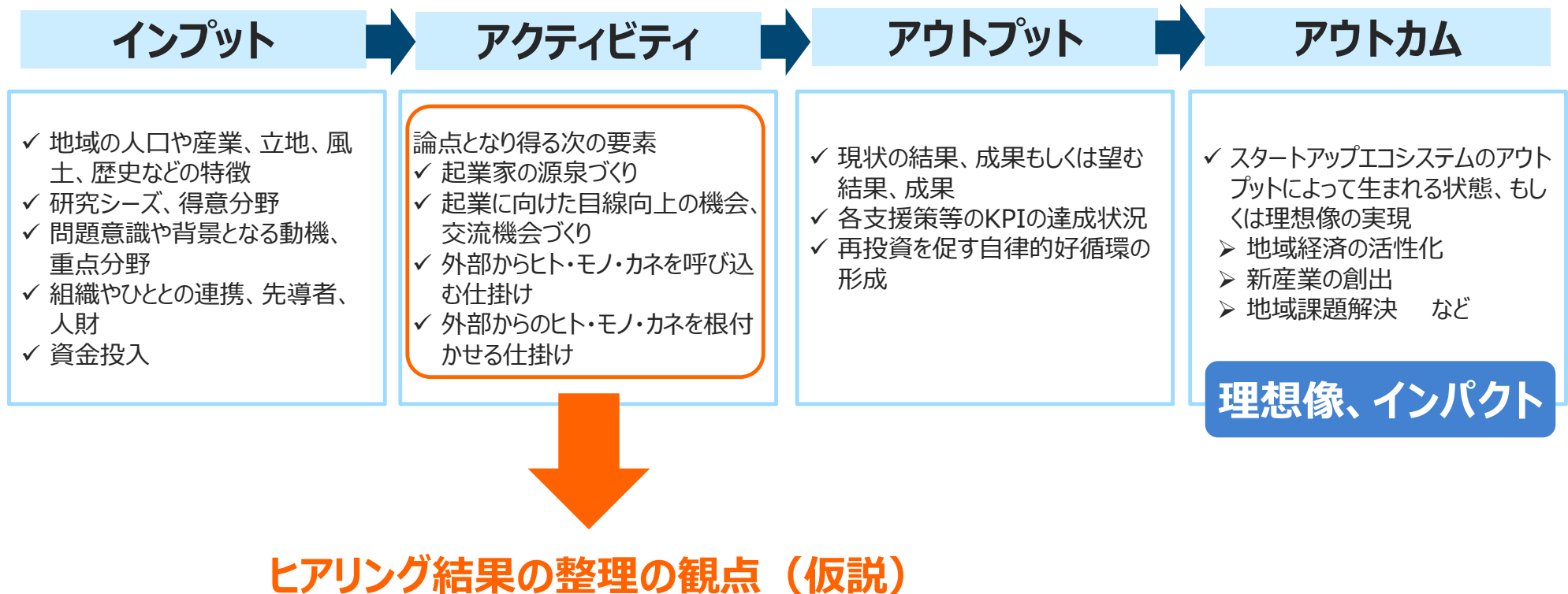
項目	出所・備考
総人口	国勢調査（総務省統計局）
総面積	国勢調査（総務省統計局）、全国都道府県市区町村別面積調（国土交通省国土地理院）
うち森林面積	社会生活統計指標－都道府県の指標－2021
うち自然公園面積	社会生活統計指標－都道府県の指標－2021
名目総生産	
うち全国に占める割合	県民経済経済計算（内閣府）、市民経済計算（各市）、全国は全県の合計値
うち第一次産業割合	
うち第二次産業割合	
うち第三次産業割合	
産業別出荷額ランキング (業連関表の影響力係数)	工業統計（経済産業省）、各県の産業連関表（静岡県・富山県2015年、広島県2011年）、平成27年（2015年）産業連関表（日本） ※産業連関表の産業分類名と工業統計の分類名は完全には一致していないため参考値
延べ宿泊者数	宿泊旅行統計調査（観光庁）
うち延べ外国人宿泊者数（割合）	
事業所数	経済センサス活動調査（総務省）
うち製造業	
従業者数	経済センサス活動調査（総務省）
うち製造業	
開業率 廃業率	経済センサス活動調査、経済センサス基礎調査 ※2009～2016年の期間における平均値
産学連携件数（対象の大学名） ※共同研究件数	令和元年度大学等における産学連携等実施状況について（文部科学省） ※大学単位での集計のため、産学連携の全数調査ではない
スタートアップの資金調達額	Japan Startup Finace 2020（INITIAL）
大学発ベンチャー企業数 (大学数に占めるベンチャー企業数の割合)	令和元年度産業技術調査（大学発ベンチャー実施等調査）報告書（経済産業省）
大学数	学校基本調査（文部科学省）
ベンチャー企業数 (事業所数に占めるベンチャー企業数の割合)	STARTUP DB登録のベンチャー企業数（2020年）、経済センサス活動調査（総務省）（2016年）

Section3

ヒアリング結果（中間報告）と考察

ヒアリング結果の整理の観点

地域においてイノベーション／スタートアップ・エコシステムを形成し、
理想像、インパクトを実現していくためのロジックモデル



<参考>ヒアリング結果の整理の観点と富山八十八策との対応

主要アクティビティ (仮説) → ↓ 富山八十八策関係施策	A 起業家の源泉づくり	B 起業に向けた目線向上 の機会、交流機会づくり	C 外部からヒト・モノ・カネ を呼び込む仕掛け	D 外部からのヒト・モノ・カネ を根付かせる仕掛け
I-2-② 小規模な本社機能の県外 からの移転促進			<ul style="list-style-type: none"> ○ 県外からの移転支援 ○ セミナーによる魅力PR ※大都市圏等対象 	
I-2-③ 富山県を支えてきた製薬産 業、非鉄金属産業の設備更 新、イノベーションを後押しす る特区制度設置		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシ アム（専門人材育成） ○ アルミコンソーシアム（専門 人材育成） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規制改革、アルミサンドボツ クス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設備更新、研究開発、販 路開拓等支援
I-3-① 起業を志す人へのサポート			<ul style="list-style-type: none"> ○ 起業支援金 ○ 移住支援金（50万円） ※どちらも全国対象 	
I-3-② とやまベンチャービジネス支援 協議会				<ul style="list-style-type: none"> ○ 産学官金連携による資金 調達支援（オール富山）
	○ 起業家の人材育成から資金調達までの一貫した伴走支援			
I-3-③ インキュベーション施設や起業 プログラムの整備（ソフト/ ハード）	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハード：蓮町創業支援施設と民間の インキュベーション施設間の連携強化 ○ ソフト：起業プログラム実施 			
VII-1-⑤ ポートランドへの大学生等の 起業・ビジネス研修派遣	<ul style="list-style-type: none"> ○ 起業を目指す大学生等を 短期派遣 			

ヒアリング結果①（中間報告）

A

起業家の源泉づくり

✓ **浜松市：**

- 地域内には**起業を目的とした教育を行っている大学**が存在（光産業創成大学院大学）
- **静岡大学はグローバルな起業家人材育成を目的とするEDGE-NEXTプログラム「Global Tech EDGE NEXT（東大・筑波大・お茶の水女子大・静岡大）」に参加**
- 地域のスタートアップが**地元小中学校向け**のプログラム提供や大学での講義を実施

✓ **広島県：**

- 広島大学での**アントレプレナー教育**や大発ベンチャー企業の個別支援等を実施
- 広島県による地域の課題解決を担う**アントレプレナー育成**を目的とした各種プログラムの開催
- 「ひろしま自動車産学官連携推進会議」が**小中校向けにプログラミング教育**を実施（社会的課題解決を視野）

B

起業に向けた目線向上の機会、交流機会づくり

✓ **浜松市：**

- 起業家向け施設として、市のサテライトオフィス（中山間部含む）や**地元信金運営のコミュニティビルダーがサポートするコミュニティスペース「FUSE」**等を整備
- **イグジット企業の成功例が必要**であり、関係者間でその認識を共有（現在、イグジット見込み企業が2、3社）

✓ **広島県：**

- 県が運営する交流拠点**「Camps」によるハブ機能**
- 地域イノベーション戦略推進会議のメンバーを務めたベシス・吉村社長が**起業家同士が支え合う組織「EO Setouchi」**（世界60カ国に展開・起業家600名超の起業家団体の支部）を設立

ヒアリング結果②（中間報告）

C

外部からヒト・モノ・カネを呼び込む仕掛け

✓ 浜松市：

- 市の東京事務所による積極的なPRやPR Timesとの提携、誘致活動パートナー企業を認定
- 受け皿となる起業家コミュニティを重視し、「Hamamatsu Venture Tribe」や「ベンチャー連合会」等が複数存在
- 市の実証実験事業には計12社が参加（友人起業家の推薦や浜松の評判を理由に参加したスタートアップも）

✓ 広島県：

- 県による移住対策では、従業員移住に伴う会社移転の場合には最大2億円を補助
- 加えて、海が見えるワーケーションスペースを整備し対外的にPR
- 県外企業等と連携し、AI/IoT、ビッグデータ等の最新技術を活用した挑戦を促すサンドボックス事業の実施

ヒアリング結果③（中間報告）

D 外部からのヒト・モノ・カネを根付かせる仕掛け 【全体もしくはヒト・モノ】

✓ 浜松市：

- 人・もの・金・情報・総合に跨る**20以上の施策**を展開。**ファンドや実証実験**、起業家コミュニティ形成等が特長的
- 産学官金毎に、**個別のビジョンも持ちながら、重なる部分では有機的に連携し合う「自走」状態**を目指している
- すでに、資金調達済みのスタートアップが**起業家のメンター**となって**刺激を与える等の好循環**が生まれつつある
- 地場製造業との連携：**「次世代自動車センター(CASE対応支援)」、「フォトンバレーセンター(光電子技術展開支援)」**

✓ 広島県：

- 県の主要施策：多様な人材のネットワーク構築、産学官連携、人材育成が3本柱
- 高度デジタル人材の輩出国であるインドの最大級スタートアップ・インキュベーション施設**「T-Hub」**と**パートナーシップ**を締結。まずは日印のスタートアップ企業等とのマッチングを開始（**デジタル&グローバル**）

D 外部からのヒト・モノ・カネを根付かせる仕掛け 【資金面】

✓ 浜松市：

- **ファンドサポート事業**：認定VCがファンド出資した場合、市が同額を交付金として交付（**VCの目利き活用**）
- 他に静岡大発ベンチャー向けの静大ファンド、浜松市による研究開発費や賃料等の補助あり

✓ 広島県：

- (株)ひろしまイノベーション推進機構が、成長志向の地域企業やベンチャーなどを対象としたファンドを組成・運営。**県出資の1号ファンド**を呼び水に2～3号ファンドでは民間資金を集め、成長投資を実施
- 他に広島銀行では、**ベンチャー助成金**や広島大学発ベンチャーファンド、融資等の資金的サポートを実施

- ✓ **危機意識・理想像の共有・納得**
- ✓ **リーダーの熱意、集中的支援**
- ✓ **起業家の視点重視**
- ✓ **コミュニティビルダーの存在**
- ✓ **地道な取り組み、効果的な発信**
- ✓ **自走するエコシステムの形成**

付表

浜松市・広島県の特徴的な施策

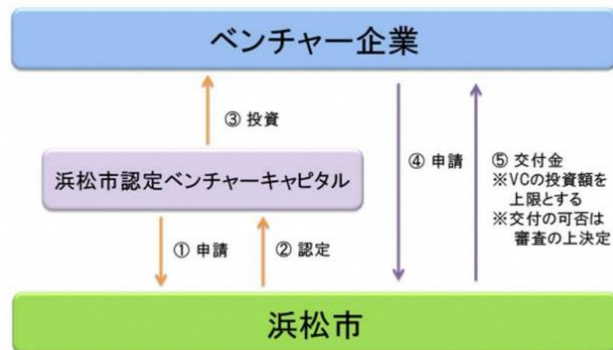
浜松市のスタートアップ・エコシステムに関連する特徴的な施策

ファンドサポート事業

■ 事業の内容

- 浜松市内のベンチャー企業等が必要とする資金を、浜松市が認定したVCと協調して支援する制度
- 具体的には、浜松市が「はままつ産業イノベーション構想」の中で位置づけた6つの分野（次世代輸送用機器関連、光・電子関連、健康・医療関連、環境・エネルギー関連、新農業関連、デジタルネットワーク・コンテンツ関連）に関連のある事業を行っているベンチャーに対し、認定VC（現在23社）が投資した金額と同額相当（上限あり）を交付金として支給するというもの
- 2019年度に3件、2020年度の第1回及び第2回にそれぞれ5件を採択

サポート概要

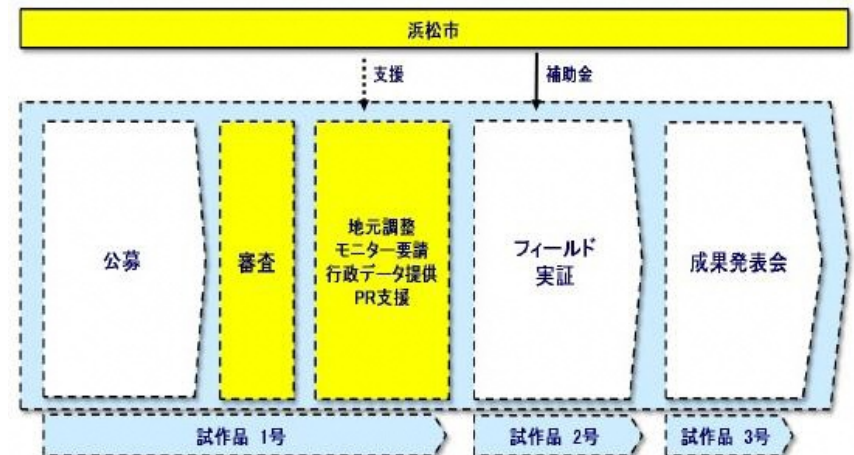


実証実験サポート事業

■ 事業の内容

- 市の社会的課題の解決とテクノロジー活用による産業振興推進のため、全国のスタートアップ企業が市内で実施する実証実験のサポート制度
- 具体的な支援内容としては、最大200万円の経費支援や、モニターの紹介、地元調整といったもの
- 2019年度に5件、2020年度に7件を支援先として採択。2021年2月にはプロジェクト取組報告会も実施

サポートフロー図



広島県のスタートアップ・エコシステムに関連する特徴的な施策

ひろしまオフィスプランニング助成事業

■ 事業の内容

- 特にコロナ禍においては、「ひろしまオフィスプランニング助成事業」として、本社機能の全てまたは一部を広島に移転する「ずっと広島」、または広島を拠点にプロジェクトを進める「ちょっと広島」の2つの特別支援メニューを実施（特別支援メニューのエントリーは2021年2月に終了）
- 移転に伴う初期費用（オフィス改装費用・機器購入等）を最大2億円（コロナ禍前の企業立地促進助成制度では1億円が上限）補助。特に社長や従業員の家族も補助対象とし、県内におけるビジネスをサポート

特別支援メニューのモデルケース例



海外インキュベーション施設との共同事業

■ 事業の内容

- インド最大級のスタートアップインキュベーション施設である「T-Hub」とパートナーシップを締結（2020年6月）し、県内企業とインドのスタートアップ企業やデジタル人材による共創プログラムを実施
- 第一回目の連携事業としては、新領域の事業創出を目指し、「モビリティ」をテーマにインドで選抜されたインドチームと日本の企業がタッグを組み、ワークショップを開催。

第1回目のWSのプログラム内容

PART 1 R2S イノベーション・チャレンジ
(インド開催)

インドでも有数のスタートアップのインキュベーション施設「T-HUB」（本拠地：テランガナ州・ハイデラバード市）にて、インドにおける「人と物の移動」をテーマとしたイノベーション・チャレンジを開催。二度のオンライン・ワークショップとメンタリングを経て、最終的に3つのインドチームを選抜します。選抜チームは、来春広島で開催するR2Sワークショップにて、本プログラムの参加企業とともに、新たなソリューションを考案していきます。

◆ 2020年11月 一次選考会
◆ 2020年12月 二次選考会・入賞者発表

対象 T-Hubネットワークに所属する工学部専攻の大学生・卒業生、アーリースタートアップ
年齢 30歳以下

PART 2 R2S 新領域の事業創出ワークショップ
(広島開催)

参加企業1社ごとにインドからの入賞者1名とタッグを組み、これからの人と物の移動をテーマに課題の定義からソリューションのプロトタイプ、発表（デモデー）までを集中的に行います。

◆ 2021年1月12日（火） プレセッション「なぜいま広島×インドなのか」（1日間）
◆ 2021年2月15日（月） チームアップ/自社資源の投入直し
◆ 2021年2月16日（火） デジタル・トランスフォーメーションを考える
◆ 2021年2月17日（水） 未来の暮らしのビジョンと機会領域の研究
◆ 2021年2月18日（木） ビジョンとアイデアの策定
◆ 2021年2月19日（金） 最終発表会